

【参考資料】 平成22年度 実績報告(可茂森林組合)

作成日:平成23年4月30日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	63.61	105.00	165.1%	H23予定:53.53ha	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	4月~6月	4月~6月	/	通年で対応するが、主に4月~6月までとする。	
誰が	佐藤	佐藤			
どういう方法で	個別訪問(多数) 地区座談会(2回)	個別訪問(多数) 地区座談会(2回)			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	2	0	0%	H23予定:2ha	
いつ	7月~9月	-	/	7月~9月	
誰が	可茂森林組合森林技術者	可茂森林組合森林技術者			
どういう方法で	事業区域内で実施が必要な箇所があれば実施	事業区域内で実施が必要な箇所があれば実施			

間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	利用:36.69ha 切捨:18.89ha	利用:27.00ha 切捨:13.00ha	73.6% 68.8%	H23予定:32.65ha H23予定:10.43ha	
いつ	1月~3月	4月~3月	/	4月~3月	
誰が	可茂森林組合森林技術者	可茂森林組合森林技術者			
どういう方法で	作業道から20m以内の間伐材のみ搬出	作業道から20m以内の間伐材を主に搬出			

作業道(路)開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m,L=2,100m W=3.0m,L=3,000m	W=3.6m,L=1420m W=3.0m,L=2,094m	100.0% 69.8%	H23予定:1,800m(2級造林作業道) :4,000m(3級造林作業道もしくは緊急管理路)	開設費 W=3.6m 3,108円/m W=3.0m 1,961円/m W=3.0m 2,802円/m
いつ	7~3月	4~3月	/	通年(梅雨、降雪時を除く)開設	
誰が	可茂森林組合森林技術者	可茂森林組合森林技術者			
どういう方法で	設計・施工・管理:森林組合直営	設計・施工・管理:森林組合直営			

素材生産	新規チーム設立(H20)		内容		
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)			伐倒:チェンソー → 木寄:グラブ(0.50)もしくはスイングヤーダグラブ(0.25) → 玉切造材:プロセッサ「リース」もしくはチェンソー → 積込:(再掲)グラブ(0.50)もしくはスイングヤーダグラブ(0.25)「フォワード「リース」」による運搬の場合もあり → トラック(6t)		
素材生産チーム数(チーム員数)	実施前 → 実施後		1チーム(4人/班)	1チーム(3人/班)	
実稼働日数(日)	(H21) (H22)		90	183	
素材生産コスト(m <sup>3</sup> /人・日)			2.9	1.9	
素材生産費(円/m <sup>3</sup> )	H22計画(実績)		車両系:8,000(17,281)円/m <sup>3</sup>		
年間素材生産量	計画	実績	達成率	備考	今後の対応
モデル団地内	1,117	1,034.7	92.6%	森プロのみ	素材生産を実施する事業地において何m搬出し、何人工が損益分岐点なのかということを明確にして、事業を実施する。
モデル団地外	1,483	961.56	64.8%	(上記の素材生産システム)	
合計	2,600	1,996	76.8%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み					
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応		
森林施業プランナーの育成(1名)	2.21haの、所有者5人の事業地で作成し、事業不同意の1名の説明を試みたが、面会拒否で未活用。その他、1名に対して施業方法の打合せに活用	施業提案書の活用(人数)	施業提案書を作成した経験をもとに、施業プランナーとしてのレベルアップを図る。		
100年の森づくり施業指針に基づく木材生産林への転換(未整備林から木材生産林へ)	岐阜県森林研究所の協力を得て試験地(平成20年度事業箇所と平成21年度事業箇所)の継続調査と新規に試験地を2箇所設置	100年の森づくり施業指針に基づく直径成長の調査 未整備林から木材生産林への転換(ha、採算性など)	試験地を今後も設置し様々な方法で事業を実施。未整備林からの木材生産林の転換に向け森林研究所の協力を得ながら実施		
プロジェクトの実施状況の報告及び普及啓発	林業推進委員会(8回)市町村森林管理協議会(5回)及び組合だよりにて組合員に普及	各委員会等での状況報告(回数)	今後同様に各種委員会にて状況を報告 地域住民へのアンケート(H24年実施予定)		
森林管理情報システムの構築	間伐を実施した箇所はデータベース化(40ha)	間伐実施面積	間伐を実施した箇所とともに作業道の路線も含め、座標データとしてのデータベース化は実施している。今後、属性データ(林況データ)をどのように統合させるか検討する。		

地域内の産直住宅関連業者への供給	H22実績なし(住宅業者からアカマツ供給の依頼があったが、団地内事業地に対応ができなかった。産直住宅関連企業には木材の情報提供は行った。)	木材の直送実績値(m <sup>3</sup> 、削減コストなど)	地域内の住宅業者に対して組合から営業をかけ、平成24年までに原木直送を目指す。
------------------	---	-----------------------------------	---

	3	2	1	12	11	10	9	8
作業道	64,000		352,000	834,000	789,583	917,659	595,419	1,335,750
管理路	2,047,400	640,000	352,000	37,700	409,825	552,450	968,132	
作業道人区	2.0	0.0	11.0	18.5	38.5	31.0	20.5	42.3
管理路人区	46.5	20.0	11.0	1.0	16.5	26.5	39.6	

	3	2	1	12	11	10	9	8
利用間伐事業費	1,142,325	1,470,350	1,547,745	1,633,400	1,679,250	1,100,650	841,250	2,026,550
材積	352.64	10.171	73.519	29.759	26.479	6.314	77.588	88.543
人区	48.0	36.0	39.0	50.5	55.0	34.5	27.5	59.0

7	6	5	4	総事業費	開設距離	
884,812	231,816	852,739	522,345	7,380,123	2,000	3690.0615
	207,523	654,256		5,869,286	2094	2802.906399
44.0	10.5	20.3	37.0	275.6		
	9.0	26.0		196.1		

7	6	5	4		搬出実績	
1,647,950	1,393,350	1,756,000	1,641,950	17,880,770	1,034.70	17281.1153
44.592	93.933	118.714	112.448	1,034.70		
51.5	47.5	53.0	48.0	549.50	183.1666667	

885.61476	管理費(一般)	24%	4575.67626
672.6975358	管理費(一般)	24%	3475.603935

19281.1153	運送	2000 円
4627.467672	管理費(一般)	24%
23908.58297		